

教育目標(めざす児童像)

- 心もからだも強い子
- すすんで勉強する子
- 友だちと協力する子

自立
自分の個性や能力を生かし伸ばす
主体的に思考・判断・行動する
共生
他者を価値ある存在として尊重する
多様な人々と協働する
↓
豊かな人生を切り拓く
持続可能な社会の創り手となる
参考:「令和の日本型教育」
(中教審・令和3年11月)

「自立」・「共生」、そして「創造」へ

めざす学校像

活気と温かみにあふれ、一人ひとりが生かされる「チーム芝浦小学校」

経営目標と取組

めざす教師像

- ◎「教育のプロ」としての使命感をもち、自らを磨き、常に学び続ける教師
- 組織の一員としての責任感と協調性を有し、学校運営に参画する教師
- 子供の心を灯火する熱意あふれる教師
- 保護者、町会・地域と協働する教師
- コンプライアンス(法令遵守)意識が高い教師

「徳」「知」「体」を育む教育

長期的経営目標 ◆中期的経営目標 ・具体的な取組 ◎重点目標

●豊かな心●

自分を大切にするとともに、他者を思いやる心の育成

- ◆人権教育の推進 ◎
 - ・教育活動全体を通した偏見や差別を許さない人権教育
 - ・いじめのない学校づくり
 - ～いじめ、差別、仲間はずれをしない、させない、見過ごさない～
 - ▷「ふれあい(いじめ防止強化)月間」(年2回)の取組を通したいじめの未然防止
 - ▷「生活アンケート」「hyper-QU」(よりよい学校生活と友達づくりのアンケート)を活用したいじめの早期発見
 - ▷「校内委員会」(随時開催)を中心とした組織的対応によるいじめの早期解決
 - ▷「学校いじめ防止対策委員会」(年2回)を通したいじめ防止対策の取組
 - ▷「お肉の情報館」と連携した偏見や差別に関する学習
- ◆規範意識の醸成
 - ・良好な人間関係を築く言葉の指導
 - ▷気持ちのよい「返事」「挨拶」「感謝」を表す言葉、相手を褒める・励ます言葉、場・人に応じた「言葉遣い」等
 - ・「芝浦小の生活のきまり」や「芝浦の子」(自己評価表)を活用した家庭と連携した指導
 - ・「考え、議論する」道徳の授業の実践
- ◆教員が共通理解を図った生活指導体制
 - ・当たり前のことをやり抜く、学習・生活習慣の確立をめざした指導
 - ・生活指導夕会(週1回)での全教員による生活指導上の課題等についての情報共有
- ◆自己有用感・自己肯定感の向上
 - ・ハッピー班活動(異学年交流)の充実
 - ・役立ち感がもてる学級活動と児童会活動の活性化
 - ・多様な考えを認め合い、合意形成を図る活動の取入れ
- ◆芸術鑑賞機会の充実
 - ・「歌花隊」の活動、児童が主体となり計画する「ミニコンサート」の実施

●確かな学力●

主体的に学習に取り組む姿勢、学んだ知識及び技能を活用し、未知のことにも対応できる思考力、判断力、表現力等の育成

- ◆「主体的・対話的な深い学び」に視点を置いた授業改善
 - ・見通しをもって取り組み、自己の学習活動を振り返り次につなげる学習
 - ・子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方等を通じ、自己の考えを広げ深める学習
 - ・情報を比較・関連付けて考えたり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする学習
- ◆「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
 - ・指導の個別化(子供の特性、学習進度、到達度に応じた指導)
 - ・学習の個性化(子供の興味・関心に応じた活動)
 - ・子供同士、多様な他者と協働した探究的な学び
- ◆言語活動・読書活動の充実 ◎
 - ・言語活動に重点を置いた校内研究への取組
 - ・言語活用能力育成のための教科横断的な指導
 - ・「朝学習」(週3回程度)を活用した基礎的・基本的な学習内容の定着
 - ・学校司書、学校図書館支援員との連携、及び「芝浦小読書の日」(毎月第4土曜日)設定による読書の習慣化
 - 学校図書館支援員及び学校司書と連携を図った学習
- ◆理数教育の推進
 - ・算数科の習熟度別指導(3～6年)
 - ・「東京ベーシック・ドリル」等を活用した基本的な学習内容の定着
 - ・サイエンスアシスタントと連携した理科教育

●健やかな体●

基本的な生活習慣の確立と健康な体づくりへの意識向上

- ◆運動への関心・意欲・基礎体力の向上
 - ・児童の実態に応じた基礎体力を高める取組(「体力・運動能力調査」の結果の活用)
 - ・ゲストティーチャー(アスリート等)を招いた学習
 - ・体力づくりのための日常的な取組(縄跳び等)
- ◆健康に関する資質・能力の育成 ◎
 - ・養護教諭と連携した保健指導の充実
 - ・校医、薬剤師等と連携した歯科指導、薬物乱用防止教室等の実施
 - ・感染症予防及び感染症に対する正しい理解のための指導
 - ・「保健だより」を通した保護者への啓発
- ◆食に対する知識の定着と関心の向上
 - ・「食に関する指導の年間計画」に基づいた食育の推進
 - ・日本の伝統的な食文化(行事食、郷土料理等)を継承した給食の献立
 - ・食の喜びや楽しさが実感できる体験学習(1・2年)、地産地消についての学習(3・4年)、家庭科専科と栄養士との連携授業(5・6年)
 - ・教員対象の食物アレルギー事故防止研修の実施
- ◆一日の生活リズムを確立と学習意欲の向上
 - ・朝の時間の活動の充実
 - ▷朝読書、朝学習、読み聞かせ、各種朝会

●インクルーシブ教育●

一人ひとりが能力や特性を伸ばしながら、成長・発達していける支援体制の構築

- ◆特別支援教育の推進 ◎
 - ・特別支援教室(ステップ・アップ・ルーム)を中心とした特別な支援が必要な児童に対する個に応じた自立支援の充実
 - ▷個別的教育支援計画、個別指導計画の作成
 - ・特別支援コーディネーターを中心とした校内研修会(年1回)の実施
- ◆特別支援教育体制の強化
 - ・「校内委員会」を中心とした組織的・計画的な協議・早期支援
 - ・学級担任と特別支援教室巡回指導員と学習支援員とが連携した指導、支援
 - ・家庭、医療機関、児童発達支援センター等との連携

●「生き抜く力」の育成●

- ◆キャリア教育の推進
 - ・「芝浦小版キャリアパスポート」を作成・活用した自己評価の実施
 - ・租税教室(税関)、法教育(弁護士)、金融教育(証券会社)の実施
- ◆ICTを活用した学びの充実 ◎
 - ・算数や総合的な学習の時間を中心にしたプログラミング的思考の醸成
 - ・近隣企業と連携したプログラミング教育の実施
 - ・ICT機器(デジタル教科書、タブレット端末、電子黒板等)の活用の推進
- ◆幼・小中一貫教育の推進
 - ・保幼小連携、就学前教育の充実(芝浦幼稚園・港南幼稚園、近隣保育園との交流)
 - ・「スタートカリキュラム」(園と小学校の接続)、「MINATOカリキュラム」(小・中学校の接続)の活用
 - ・「港南アカデミー」(園・小学校・中学校の研究組織)での合同授業研究や交流活動
- ◆郷土への愛着の醸成と、地域の課題に向き合う環境教育
 - ・企業やNPO等と連携した運河学習(3・4年)や環境に対する理解を深める学習
- ◆児童・保護者に寄り添う相談体制の充実
 - ・スクールカウンセラー、養護教諭と連携したカウンセリング
 - ・スクールカウンセラーによる全員面接(4・5年)

●地域社会との連携●

- ◆地域とともにある学校づくり ◎
 - ・「地域学校協働本部事業」の機能の活用、地域コーディネーターとの連携強化
 - ・学習支援、行事支援、安全支援、環境整備等のボランティア募集
 - ・地域の学習素材や地域人材を活用した授業
 - ・「浜浦交流」の実施
- ◆国際理解教育の充実
 - ・オリンピック・パラリンピック教育「学校2020レガシー」の継承
 - ・「世界友だちプロジェクト」の指定国の大使館と連携した教育
 - ・自国の文化についてについて学ぶ学習(芝浦太鼓・なぎなた教室等)
- ◆学校から区民、地域への積極的な情報発信
 - ・学校だより、学年だよりの配信、学校ホームページの更新
- ◆外部評価を生かした教職員の意識向上と学校経営の充実
 - ・学校評議員会の開催
 - ・学校評価アンケートの実施・考察

●教育環境の整備●

- ◆教員の資質・指導力の向上
 - ・「めざす教師像」の実現 ・研修会、研究発表会への積極的な参加と校内への還元
 - ・校内OJT体制の充実 ・定期的な服務研修(服務事故0) ・心身の健康管理
- ◆教員が教育活動・教材準備に専念できる時間の確保
 - ・働き方改革の推進(ICTの活用、家庭・地域との役割分担、スクール・サポート・スタッフの活用)
- ◆安心・安全な施設・設備、教育環境の整備 ◎
 - ・保護者、地域の方々、警察と連携した通学路点検(年2回)
 - ・「地域安全マップ」の定期的な点検
 - ・教員による校内の安全点検(月1回)新型コロナウイルス等の感染症対策
- ◆防災・防犯、安全教育の推進
 - ・避難訓練・安全指導(全学年月1回)の実施
 - ・セーフティ教室、交通安全教室(1・3年)、薬物乱用教室(6年)の開催
 - ・情報モラル教育の実施(SNSマナー教室の実施、「しばうら小SNSルール」の徹底)
 - ・非常事態発生時の関係諸機関との連携及び関係諸機関への的確な情報発信
- ◆臨時休業中等でも学びを保障する教育環境の整備
 - ・クラウドの活用 ・オンライン授業の実施